

平成 26 年 2 月 20 日

「データベース基礎およびデータベース基礎演習」の補助員 (SA) 募集

担当教員 佐藤 和洋

私の補助員 (SA)には、受講生諸君とともに一緒に議論し、考えてもらいます。受講生諸君の中に積極的に入って行ってもらうので、私の補助員 (SA)は大変だ、との噂 (^_^;) もありますが、教えながら、教わること (よく理解していなかったな、との”気づき”も含まれます。) も面白い、これまでに修得した知識・技術を確認し、それを確かなものにする良い機会にもなります。学びの姿勢は互いの問いかけを通して強められます。この機会を自己確認のためにも活用してみてください。そして、願わくば、データベースの分野に更なる興味を持ってくれる機会になってくれればとも思っています。本講義のSAへのチャレンジ、期待しています！

< 1 > 補助員 (SA) に求めること

基本的に補助員 (SA) 諸君は協力して受講生の指導に当たってもらいますが、個々の補助員に求める主な点を、以下に示しておきます。

- ① データベースに関する知識をもっと確実なものにしたいという意志を持っていること：
 - － 議論したり、教えたりするにはそれなりの知識が要求されます。知識を持ち、さらにそれを高めようとする気概のある諸君を求めます。
- ② 予・復習をきちんとやっておくこと：
 - － 履修者の中には課題対応が遅れてしまう学生もいます。そのために、複数の課題に並行して対応しなければならない場合もありますので、予・復習が大事になります。
- ③ 受講生の中に積極的に入って行って、一緒に考え、議論しながら、指導すること：
 - － ” Why ” を問うようにしてください。” 解 ” が同じでもアプローチが違うことがあります。また、” 解 ” が違っていても、間違いを指摘するだけでなく、その ” 解 ” に至った ” Why ” について議論してみてください。そして、正しい ” 解 ” に導いて行ってください。
- ④ 講義・演習の両方に必ず出席すること：
 - － 受講者の指導には、講義および演習時間における受講者の状況把握が大事です。講義の時間に、演習課題を実施したり、またその逆もありますので、2 講必ず出席するようにしてください。
- ⑤ 連絡メールの確認をきちんとすること：
 - － 補助員 (SA) とのやり取りは主にメールによって行います。講義・演習内容の提示等もありますので、メール確認を怠らないようにしてください。

< 2 > 補助員 (SA) の業務

受講生を複数のグループに分け、補助員 (SA) には一つのグループを担当してもらいます。そこでは、主に次の業務を実施してもらいます。

- ① 出欠チェック：
 - － 講義および演習時間の出欠チェックを行ってもらいます。
- ② 課題チェック：
 - － 演習課題の進捗状況や提出のチェックを行ってもらいます。課題チェック時はその内容について受講者の考えを聞き出し、積極的に議論してもらいます。
- ③ 受講生からの質問への対応：
 - － 講義の内容や課題への対応について受講者から質問があります。” 解 ” を教えるのではなく、一緒に考え (てあげ) ることを基本的な姿勢としてください。対応に困ったら、担当教員である私に声を掛けてください。私も一緒にその輪に入ります。
- ④ グループ指導連絡票の提出：
 - － 補助員 (SA) には担当グループの受講生の出欠や課題対応の状況について、指定書式のレポートを演習終了後に提出してもらいます。受講者個々人の進捗状況を把握し、次の講義演習の指導に活かすためです。大変かもしれませんが、次の補助員 (SA) の発掘にもつながりますので、宜しくお願いします。

< 3 > その他、留意事項

初回の講義の前 (日時は別途連絡) に、上記の内容も含め、具体的な対応について説明します。採用された諸君にはメールで連絡しますので、メール確認を忘れないようにしてください。